

Seki Gocoro

2021
04

No.1722



広報せき

巻頭
特集

刃物の歴史をめぐる

まち歩きに行こう

せきてらす

SEKITERRACE

TOPICS

コロナ対策プレミアム付商品券 6 ~ 7 P

コロナウイルスワクチン接種 8 P

INFORMATION 18 ~ 34 P

子育てカレンダー 37 P



SekiGocoro 04

巻頭
特集

刃物の歴史をめぐる まち歩きに行こう

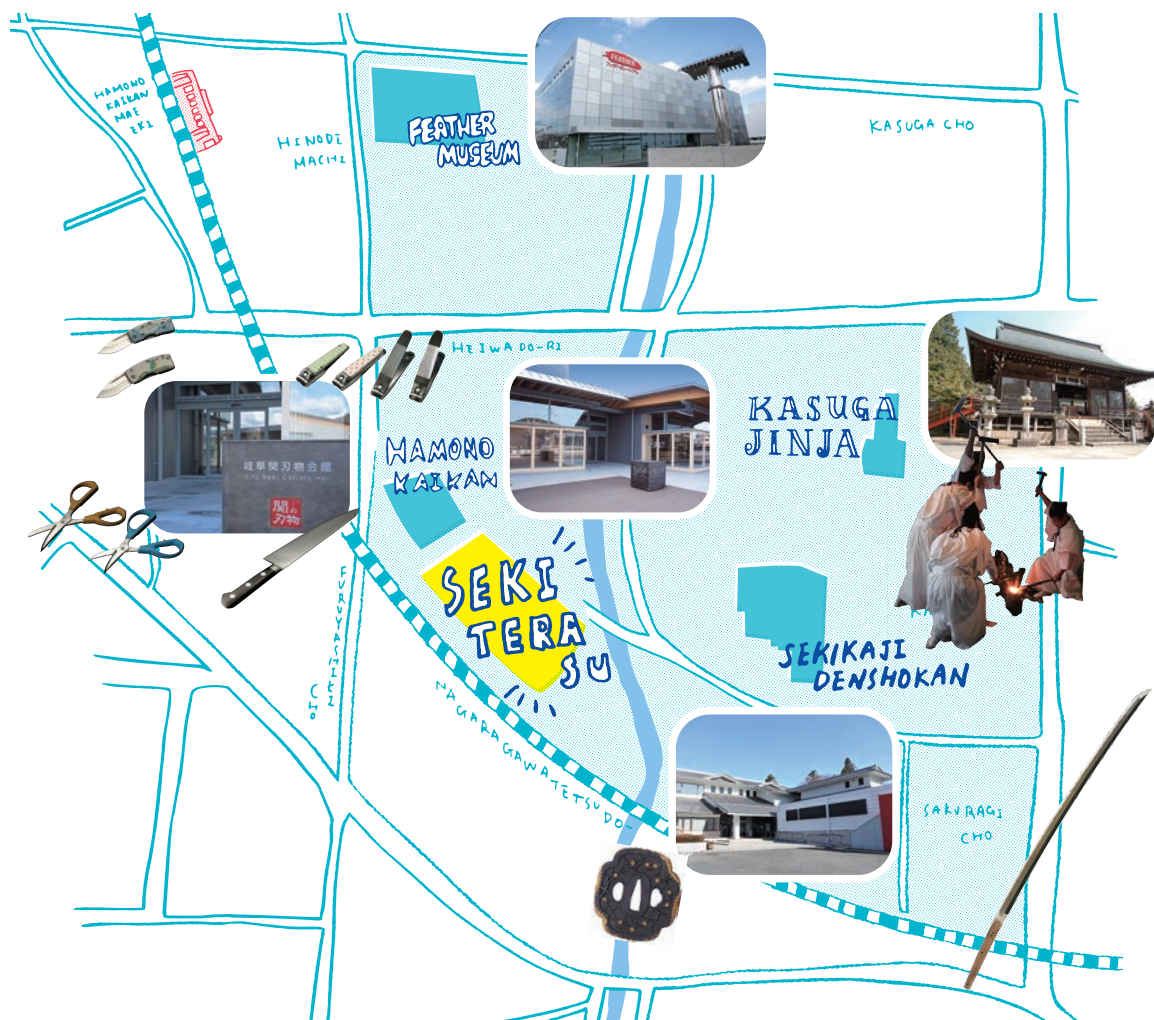


オープンした
「せきてらす」から
歩いてみよう!



この春、関の刃物・産業や文化の情報発信と、人の交流を目的とした地域交流施設『せきてらす』がオープンしました。ここは、関鍛冶伝承館や刃物会館、春日神社、フェザーミュージアムなどを結ぶ刃物の新スポット、そして関の新たな観光の玄関口となります。

今月号の特集は、『せきてらす』から刃物の歴史・文化をめぐる、まち歩きをご紹介します。



出演：高橋紫帆さん
紫音さん
(せきてらすオープン
記念イベント参加者)



「市公式チャンネル」
(YouTube)で特集映
像をお楽しみいただけ
ます。

施設概要

〈地域交流施設〉

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：火曜日・祝日の翌日(休日を
除く)、年末年始(1月2日を除く)

所在地：平和通4-12-1

問合せ：☎23-1670

〈刃物会館〉

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：年末年始

所在地：平和通4-12-6

問合せ：☎22-4941

カフェスペースも
あるよ

ここから関をご案内



観光案内所

せきのまどぐち

Tourist Information Office

市の観光情報や旬な
スポット、人気のお土
産など、関の魅力を紹
介する窓口です。



新・観光Webサイト

『せきのまど』もチェック!

飲食物や雑貨の販売も

市内店舗の商品やサービス、体験
メニューが並び、観光目的でなくて
も、いつでも気軽に立ち寄れ、楽し
める場所になっています。

くつろぎと交流の空間



多目的ホール

じゅうなひろま

Multipurpose Hall

オープンスペースとして
開放されています。ちょっ
とした休憩やコワーキン
グの利用もOK。会議や
イベントを行う場所とし
て貸出も行っています。



公衆無線LAN(Wi-Fi)サービスも
提供しています。

共生広場

みんなのはらっぱ

Symbiosis Square

キッチン設備

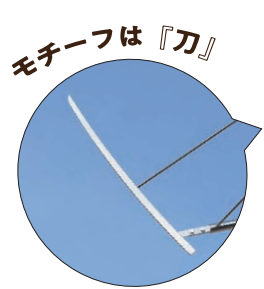
つなぐすいじば

Kitchen

キッチンルームを借り
て、クッキングを楽しむ
ことができます。

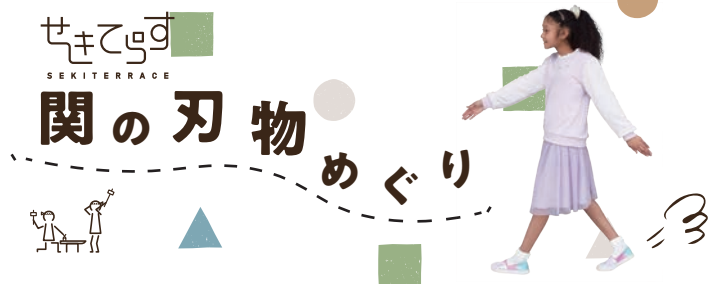


春は関川沿いに咲く
桜の景色が楽しめます。



モニュメント
関伝乱舞

「刃物のまち」をイメージしてデザインされた、
せきてらすのランドマーク。



せきてらすの周辺には、刀鍛冶や刃物に関連するスポッ
トが集まっています。このエリアは、刃物の伝統や文化に
触れられる「刃物のまち」を象徴する場所です。



関鍛冶伝承館

日本刀の製造工程
や歴史に関する展
示やイベントが行
われる施設。毎月
第1日曜日(1月、10
月は除く)には、古
式日本刀鍛錬の実
演が見られます。

濃州関所茶屋

関市の名前の由来
となったといわれ
る「関所」をイメー
ジした休憩施設。



刃物工房
てづくりば
Cutlery Factory

せきてらす内にある工房で、
「刃物」を使ったモノづくりを
体験できます。



春日神社

鎌倉時代、大和から
移住してきた鍛冶職
たちによって、春日大
社の分霊を祀ったこと
が始まりとされる関
鍛冶の守護神。



みんなも
歩いてみてね!



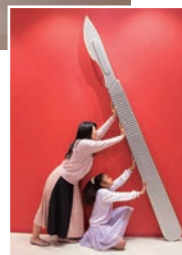
刃物会館

せきてらすの隣に移転し、
リニューアルオープンした
「関の刃物直売所」。市販
価格よりお値打ちに購入で
きます。



フェザーミュージアム

カミソリと精密刃物を展示する
世界初の刃物の総合博物館。
「切る」をテーマに、楽しみなが
ら学べる体験型ミュージアム。





せきてらすに眠る

関の鍛冶記憶



「せきてらす」の地下には、関鍛冶発祥の地「古町遺跡」が眠っています。この遺跡からは、室町時代の鍛冶作業に関連する遺構・遺物が発見され、炉跡や製品と思われる短刀が出土したことから、刀鍛冶も行われていたと考えられています。また、14~16世紀の陶磁器などが16,000点以上見つかり、長期間にわたって人びとの営みがあったことが分かっています。

鍛冶の足跡



「せきてらす」と「刃物会館」に設置されたガラス張りの床から、「古町遺跡」の一部を見ることができます。



炉跡



遺跡から炉の底（火床）が見つかりました。ファイゴの羽口や金床石などが出土したことから、高温に熱した鉄を打ち叩いて、短刀などの鉄製品を加工していたと考えられています。



▲出土した短刀

見つかった短刀は、長さ19.6cm。両端が欠損し、中央部で二つに折れています。その他にも、のこぎりや釘などの鉄製品も出土しています。

関伝日本刀
鍛錬技術保存会
刀匠部会長
尾川兼國さん



刃物のまちの起源を解く遺跡

現代の刃物産業につながる、国内でも稀な鍛冶遺跡が発見されました。刀匠として、先人の軌跡に触れられたことに、とても感動しています。鍛冶工房の存在が裏付けられたこの遺跡は、「刃物のまち」の起源を解明する貴重な史料です。脈々と受け継がれてきた「関鍛冶」、そして「関の刃物」の魅力が、新しく完成した「せきてらす」から広まってほしいと思います。